

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅばの保存及び継承
主な取組	「しまくとぅばアーカイブ」の作成		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	<p>・言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとぅばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとぅばの保存及び継承に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を次世代へ継承するため、音声資料や映像資料等が十分とはいえない地域のしまくとぅばについて、保存及び継承に資するものとして、しまくとぅばのアーカイブ化の取組を行う。</p>	県	しまくとぅばによる文法調査票の収集		
		しまくとぅばによる文法調査票の収集地域数(累計)		
		44地域	88地域(132地域)	88地域(220地域)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課	【 098-866-2768 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	しまくとぅばアーカイブ事業			予算事業名	しまくとぅばアーカイブ事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	0	12,390	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	22,232
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>文法的事項を含む文法調査票を収集し、教材の作成を行った。また、教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録や自然談話の収録を実施した。</p>				<p>文法調査票の収集し、教材を作成する。また、教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録や自然談話の収録に加え、昨年度実施分を公開する。</p>		

活動指標名	しまくとぅばによる文法調査票の 収集地域数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		—	—	44地域	44地域	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値44地域に対し、当該44地域から文法調査票44冊を収集しており、順調と判定する。
また、他の教材や歌、文学的文章についても計画どおり収集し、しまくとぅばの保存に資するものとなった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	調査対象地域については、予定していた地域の話者が高齢で対応が困難であることが事業を進める上で明らかになったことにより、一部地域を変更した地点もある。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	話者が減少しつつある現状では、地域との信頼関係に基づく早期の調査が求められる。	② 連携の強化・改善	今後においても調査を進める上で収集予定地域の変更等が必要となってくる場合が想定されるため、県、受託者、対象地域の話者と連携体制を強化する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅばの保存及び継承
主な取組	しまくとぅばに関する各種啓発の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとぅばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとぅばの保存及び継承に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとぅば県民大会、しまくとぅば普及功労者表彰、関連普及イベント開催によりしまくとぅばの周知・啓発を行う。	県	しまくとぅば県民大会、しまくとぅば功労者表彰、関連普及イベント開催による周知・啓発		
		しまくとぅば功労者表彰者数(累計)		
		10個人・団体	10個人・団体(20個人・団体)	10個人・団体(30個人・団体)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	しまくとぅば普及継承事業			予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	85,988	61,965	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	74,197
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
しまくとぅば県民大会において、しまくとぅば普及功労者の表彰を行った。 また、「U-18島唄者コンテスト」等の関連イベントを実施した。				しまくとぅば県民大会を実施し、「しまくとぅば普及功労者表彰」、「U-18島唄者コンテスト」、「しまくとぅば語やびら大会」等を実施する。		

活動指標名	しまくとぅば功労者表彰者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	8個人・団体	11個人・団体	10個人・団体	10個人・団体	100.0%	順調	地域における「しまくとぅば」の普及に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえしまくとぅば普及功労者表彰を令和4年9月18日の県民大会（第一部）で実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標値10個人・団体に対し、功労者表彰数は、10名（個人）であり、「順調」と判定する。 また、「しまくとぅば」の普及に尽力し、功績が顕著な方を表彰することにより、県民のしまくとぅば使用を促進させる効果が期待できる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>年間を通じて県民に「しまくとぅば」に触れる機会の提供を図るため、県文化協会が実施する「しまくとぅば語やびら大会」や「U-18島唄者コンテスト」との連携を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	令和4年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば県民大会 (イベント)」の認知度は13.6%であり、令和3年度 (16.0%) から減少している。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	「しまくとぅば県民大会 (イベント)」、「関連普及イベント」の認知度向上を図るため、WEBによるライブ配信や特設サイトの設置などにより情報発信の強化を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとぅば講師養成講座の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとぅばの普及継承を一層促進させるため、しまくとぅば普及の中核的機能を狙う「しまくとぅば普及センター」において、各地域における講師養成講座を実施する。	県	しまくとぅば講師養成講座の実施		
		しまくとぅば講師養成講座の実施回数(累計)		
		60回	60回(120回)	60回(180回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 しまくとぅば普及継承事業				予算事業名 しまくとぅば普及継承事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	85,988	61,965	一括交付金 (ソフト)	委託	74,197
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
6月～9月に八重山中級講座を実施した。 また、9月～翌年1月に北部上級講座を実施した。				4月から6月にかけて、八重山上級講座を実施する。 また、9月から12月にかけて、宮古初級講座を実施する。		

活動指標名	しまくとぅば講師養成講座の実施回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	32回	65回	58回	60回	96.7%	順調	しまくとぅば普及センターにおいて、北部上級及び八重山中級の講師養成講座を実施した。受講者の合計数は64名のうち合格者は42名であった。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標値60回に対し、講座の実施回数は、北部上級28回、八重山中級30回の計58回であり、「順調」と判定する。そのうち、合格者は42名であり、今後のしまくとぅばの普及継承の一翼を担う人材の育成に寄与した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>令和3年度に行ったしまくとぅばに関する県民意識調査により、県民がどのような機会にしまくとぅばに触れているのかや、市町村、小・中学校、民間団体等がしまくとぅばについてどのような取組みを行っているのか等を把握し、しまくとぅばを聞く機会・話す機会の創出に繋がる取組みを令和4年度に検討する新たなしまくとぅば普及推進計画に盛り込み、実施することにより、しまくとぅばを話す人の割合の向上を図る。</p>	<p>令和5年3月策定の「しまくとぅば普及推進計画(第2期計画)」では、消滅危機にある各地域の「しまくとぅば」の保存及び世代間や教育機関等での継承の促進に取り組むとともに、関係機関や関係団体と連携を図りながら、全県的かつ横断的な普及運動を実施し、県民の「しまくとぅば」を聞く機会や話す機会の創出に取り組むこととした。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	<p>令和4年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば」の使用頻度について、挨拶程度以上使うとした人の割合は、39.0%であり、令和3年度(28.6%)から増加している。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<p>県民のしまくとぅば使用頻度の更なる向上のため、「しまくとぅば講師養成講座」の受講生の増加を促す観点から、これまでの対面での講座に加えて、オンライン聴講も実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとぅば出前講座の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとぅばの普及継承を一層促進させるため、しまくとぅば普及の中核的機能を狙う「しまくとぅば普及センター」において、学校等への講座を実施する。	県	しまくとぅば講師等の人材活用のコーディネート		
		しまくとぅば関連講座への講師等派遣件数(累計)		
		15件	15件(30件)	15件(45件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	しまくとぅば普及継承事業			予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	85,988	61,965	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	74,197
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
人材バンクを活用した応募による講師派遣講座を13件、その他、普及に効果的と考えられるモデル事業を7件の計20件を実施した。				人材バンクを活用した応募による派遣事業10件、普及に効果的と考えられるモデル事業を5件の計15件実施する。		

活動指標名	しまくとぅば関連講座への講師等 派遣件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		12件	6件	20件	15件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値として、応募による講師派遣講座10件、モデル事業5件に対し、両事業とも実施件数を満たしているため、「順調」と判定する。北部地域の講師養成講座を修了した認定講師による初心者向け実戦講座も実施するなど、しまくとぅばの普及継承に寄与した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
令和3年度に行ったしまくとぅばに関する県民意識調査により、県民がどのような機会にしまくとぅばに触れているのかや、市町村、小・中学校、民間団体等がしまくとぅばについてどのような取組みを行っているのか等を把握し、しまくとぅばを聞く機会・話す機会の創出に繋がる取組みを令和4年度に検討する新たなしまくとぅば普及推進計画に盛り込み、実施することにより、しまくとぅばを話す人の割合の向上を図る。	令和5年3月策定の「しまくとぅば普及推進計画(第2期計画)」では、消滅危機にある各地域の「しまくとぅば」の保存及び世代間や教育機関等での継承の促進に取り組むとともに、関係機関や関係団体と連携を図りながら、全県的かつ横断的な普及運動を実施し、県民の「しまくとぅば」を聞く機会や話す機会の創出に取り組むこととした。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	令和4年度のしまくとうば県民意識調査によると、「しまくとうば」の使用頻度について、挨拶程度以上使うとした人の割合は、39.0%であり、令和3年度(28.6%)から増加している。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	県民のしまくとうば使用頻度の更なる向上のため、講師養成講座を修了した講師による実践講座の回数を増やし、効率的なしまくとうば普及継承を展開する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとぅば検定の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとぅばの普及継承を一層促進させるため、しまくとぅば普及の中核的機能を狙う「しまくとぅば普及センター」において、しまくとぅば検定を実施する。	県	しまくとぅば検定の実施		
		しまくとぅば検定受検者数(累計)		
		1,000人	1,000人(2,000人)	1,000人(3,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	しまくとぅば普及継承事業			予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	85,988	61,965	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	74,197
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
6級及び5級の検定試験(会場試験)及び7級から9級の検定試験(WEB試験)を12月に実施した。				しまくとぅば普及センターにおいて、これまでのしまくとぅば検定試験の「級位設定等」の見直しを行い、新たな検定試験を実施する。		

活動指標名	しまくとぅば検定受験者数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		869人	1,114人	922人	1,000人	92.2%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値1,000名に対し、受験者数は922名であり、「順調」と判定する。全体の受験者数も増加傾向にあるため、しまくとぅば普及継承に寄与している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	令和4年度は7級から9級までのしまくとぅば検定をオンラインで実施し、県民の利便性向上に資するものとなった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	令和4年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば検定」の認知度は17.0%であり、令和3年度(21.3%)から減少している。	⑥ 変化に対応した取組の改善	しまくとぅばの認知度向上や県民の利便性向上のため、時間や場所を選ばず自由に学習・検定が可能な「Eラーニング検定(仮称)」を令和5年度から新たに実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出
主な取組	普及に取り組む団体等への支援		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとぅばの普及を推進するとともに、各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等へ支援を行う。	県	民間団体へのしまくとぅば普及活動に関する補助		
		しまくとぅば普及促進事業費補助金の交付団体数(累計)		
		8団体	8団体(16団体)	8団体(24団体)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 しまくとぅば普及継承事業				予算事業名 しまくとぅば普及継承事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	85,988	61,965	一括交付金 (ソフト)	補助	74,197
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
8団体を採択し、補助を行った。				8団体へ補助を予定している。		

活動指標名	しまくとぅば普及促進事業費補助金の交付団体数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	7団体	8団体	8団体	8団体	100.0%	順調	しまくとぅば普及継承の取組に対する補助事業の公募を行ったところ、10団体の応募があった。審査の結果、8団体が採択され、しまくとぅばの講座や公演、大会・コンテスト等の事業が展開された。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標値10団体に対し、しまくとぅばの普及効果が期待できる事業を応募10団体の中から8団体採択した。採択された8団体の事業は、講座、公演、大会・コンテストなど多岐にわたり、幅広い年齢層が楽しめる内容で実施された。多くの県民がしまくとぅばに親しむことができ、普及継承に寄与した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 補助事業者に対して、事務処理に関する手引き等を周知し、計画に沿った事業実施及び予算執行等を行えるよう支援する。 HPでの公募のみならず、各市町村等にも周知し、認知度の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公募時から「しまくとぅば普及促進事業費補助金」の事務処理に関する手引きを公表し、経費等の考え方を示した。 実施主体を幅広く募集するため、HPでの公募に加えて、各市町村、関係団体へ周知協力を依頼した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	普及団体がこれまで県や市町村事業の経験が浅い団体等が多く、事務作業そのものについても不慣れな団体がほとんどであることから、補助事業制度そのものの理解が難しく、事業の執行に多大な支援を要する。	② 連携の強化・改善	補助金交付決定後においても、積極的に経理上の留意点などを各団体へ周知し、各団体が補助事業を円滑に執行できるようサポートする。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	県内団体で応募する団体や地域 (中南部が主) に偏りがある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	補助の対象となる事業の取組例をより具体的にHP等で示し、事業の認知度向上を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出
主な取組	しまくとぅば普及センターによる相談業務の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとぅばの普及を推進するとともに、各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
しまくとぅば普及センターにおいて、しまくとぅばに関する総合窓口を設置し、実施する。	県	しまくとぅば普及センターによる情報提供、アドバイス		
		普及団体や民間企業等からの相談対応件数(累計)		
		120件	120件(240件)	120件(360件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	しまくとぅば普及継承事業			予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	85,988	61,965	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	74,197
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
しまくとぅば普及センターにおいて、総合窓口を設置し、しまくとぅば普及への意見・提案、人材派遣の依頼等のさまざまな問い合わせに対応した。				しまくとぅば普及への意見・提案、人材派遣の依頼、しまくとぅばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応する。		

活動指標名	普及団体や民間企業等からの相談 対応件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	119件	120件	99.2%	順調	しまくとぅば普及への意見・提案、県の施策に対する苦情、人材派遣の依頼、しまくとぅばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値120件に対し、相談対応件数は119件であり、「順調」と判定する。
 小中高の学生から高年齢の方々まで、幅広い年齢層から問い合わせ対応を行い、しまくとぅばの普及継承に寄与している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	しまくとぅば普及センターでは、センターの蔵書及びコーディネーター間の知識共有により、電話等来訪者の様々な相談に対応した。また、質問内容によっては、学識経験者の意見も取り入れながら、慎重かつ丁寧な対応を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	令和4年度のしまくとうば県民意識調査によると、「しまくとうばの必要性」については、83.5%であり、令和3年度(61.9%)から増加している。	⑤ 情報発信等の強化・改善	相談内容に応じて、しまくとうば普及センターが運営する「しまくとうばナビ」のWEBサイトへ積極的に案内するなど、しまくとうば普及センターの取組活動を広く情報発信する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	4,340	4,500	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	4,500
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
京都芸術劇場において、「琉球舞踊と組踊」上演、ワークショップ開催した。				福岡県、岡山県において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。		

活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による 伝統芸能の県外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1公演	1公演	1公演	1公演	100.0%	順調	京都芸術劇場において、「琉球舞踊と組踊」を上演し、ワークショップ開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
公演前のワークショップや、組踊の歴史解説、楽器・小道具を紹介し、沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチが出来た。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
感染症対策の中、ワークショップでは主催者側による制限なども行われたが、アンケートでは、また機会があれば鑑賞したいとの声も多かった。	ツーリズムEXPOジャパン2022において、ステージでの組踊りと琉舞の実演解説と、展示ブースにて、三板・四つ竹の体験、パネル展示・パンフレット配布を旅行会社バイヤー向けに実施した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国内のみならず、国外に向けても沖縄伝統芸能の魅力を発信し、観光コンテンツとしての認知度向上を図る。	⑤ 情報発信等の強化・改善	VISIT JAPANトラベル&MICEマートが同時開催される、ツーリズムEXPO会場内で、旅行会社バイヤー向け情報発信や、演舞実演で沖縄伝統芸能の魅力を発信する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化の発進力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、世界で活躍できる人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域の文化芸術振興事業			予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	0	4,000	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	4,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、県外公演として東京都で琉球舞踊を1公演実施し、230名が参加した。				令和5年度は、県外公演として長野県で琉球古典芸能の公演を1公演実施する予定である。		

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		0公演	0公演	1公演	1公演	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コロナの感染状況等を注視し、公演開催が困難な場合の代替策として動画配信等の準備を行いつつ、事業を実施した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
新型コロナウイルス感染症蔓延等社会情勢の変化に柔軟な対応ができる団体へ委託することで、引き続き県民の鑑賞機会を提供する。	企画提案仕様書に公演実施が困難な場合の代替策を提案するよう盛り込んだ。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	事業応募件数が少なかった。(1団体)	⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の公募について、広報周知を強化し、応募団体数を増やす。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	既存の民間主体の舞台公演も多数実施されている地域において、文化力の発信強化につながったのか検証が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	昨年度実績ベースの客席数200席を条件とし、大都市圏以外での開催も可能とする。
		⑧ その他	公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能の海外公演	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		
		—	1公演	1公演(2公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 地域の文化芸術振興事業				予算事業名 地域の文化芸術振興事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	0	0	県単等	委託	14,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えた。				文化の発信力強化、文化交流の拡大、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を1回開催し、県内の文化芸術団体を派遣する。		

活動指標名	文化芸術団体による海外公演の開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0公演	0公演	0公演	—	0.0%	順調	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

実施計画においても、令和4年度は目標値を設定していないため、進捗状況としては順調とした。令和4年度は県外公演を実施し、本県文化の発信力強化や人材の育成に効果があったものと考えている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化の更なる振興、世界で活躍できる人材の育成という本取組の目的を達成できるよう、海外公演の条件等を整理し、適切な時期に公募を開始する。	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、海外公演の実施を控えたため、令和5年度で反映させる。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	本取組の目的を踏まえ、海外公演の条件等を整理し適切な時期に公募を開始する。	① 執行体制の改善	公演地域の選定要件や、公演規模、公演内容等を事業目的を踏まえて検討し、適切な時期に公募を開始する。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	事業の公募について、広報周知を強化し、応募団体数を増やす。
		⑧ その他	公演にあたってアンケート調査を実施し、事業の効果を分析する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の世代継承
主な取組	伝統芸能公演への支援		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・各地域の伝統芸能の担い手となる若手実演家等の公演機会の充実を図り、本県の伝統芸能の世代継承に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能公演への支援	県,文化振興会,国立劇場おきなわ	伝統芸能の鑑賞機会の提供、若手実演家の育成及び次世代を担う子供達が沖縄の伝統芸能に触れる機会の創出		
		かりゆし芸能公演への入場者数(累計)		
		1,683人	1,683人(3,366人)	1,683人(5,049人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費			予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	51,682	51,714	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	54,577
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国立劇場おきなわや各市町村と連携しかりゆし芸能公演を23公演実施した。				国立劇場おきなわや各市町村と連携しかりゆし芸能公演を20公演実施する。		

活動指標名	かりゆし芸能公演への入場者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		611人	2,350人	1,737人	1,683人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国立劇場おきなわを始め、離島等の公演実施を通じ、伝統芸能の保有者が活躍できる場を提供することで、若手実演家の育成が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> チケットの販売は、各公演団体が独自に行っており、団体の規模等により販売数に差異がある。また、インターネット等によるチケット販売は行っていないが、イベントのチケット購入についてはインターネットによる購入も普及している。 従来の公演団体による販売は継続しつつ、複数のチケット販売方法を確保し、あらたな客層の開拓を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 従来の公演団体による販売方法も維持しつつ、文化振興会のホームページで、インターネットによるチケット販売を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度に実施した国立劇場おきなわ公演の入場率は62.7%であった。より多くの入場者数を確保するために、広報活動を行い情報発信していく必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	公演実施団体による広報活動だけではなく、文化振興会においてもSNSやデジタルサイネージ等による広報活動を図り、観光客を含めた誘客の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○地域や島の伝統行事の伝承・復元等
主な取組	地域伝統芸能を集めた公演		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
普段、祭事等でしか披露されていない地域の伝統芸能等を国立劇場おきなわに集め、舞台公演として県民へ披露する「特選 沖縄の伝統芸能」を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		国立劇場おきなわにおける伝統芸能を集めた公演数、1公演あたりの取り扱い地域数(累計)		
		1公演、5地域	1公演、5地域(2公演、10地域)	1公演、5地域(3公演、15地域)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業			予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	7,414	6,724	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	6,075
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
地域の伝統芸能等を集めた舞台公演を開催した。				地域の伝統芸能等を集めた舞台公演を開催する。		

活動指標名	R4年度					進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
国立劇場おきなわにおける伝統芸能を集めた公演数、1公演あたりの取り扱い地域数(累計)	1公演	1公演	1公演	1公演	100.0%	順調	地域の祭等で披露される伝統芸能5団体を集め国立劇場おきなわで「第9回特選 沖縄の伝統芸能」として開催した。
活動指標名	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
国立劇場おきなわにおける伝統芸能を集めた公演数、1公演あたりの取り扱い地域数(累計)	1地域	1地域	5地域	5地域	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>「第9回特撰 沖縄の伝統芸能」では今帰仁村今泊、嘉手納町野里、西原町幸地、南城市当間、久米島町兼城の伝統芸能を、国立劇場おきなわで公演し、継承活動を促進させ、コロナで活動できなかった団体の発表の場を提供した。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各地域の特色・違いを再発見してもらい、愛着を持ってもらうため地域の伝統芸能等を集めた公演を開催する。 コロナ禍での開催方法について工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でWeb発信するなど、これまでとは違った方面にアピールすることができた。 「特選 沖縄の伝統芸能」では短時間にお客様が殺到することから、物販を中止し、席もすべて指定席にするなどコロナ禍での開催方法を工夫した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	地域文化継承に関して、文化関連団体間の横の連携が十分とは言えず、各地の取組について情報交換できるような場がない。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各地域の住民が、自らの地域の伝統行事・伝統芸能の重要性や価値を共有できていない。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルスの感染状況にも留意しつつ、公演の開催方法を検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	引き続き、地域文化の普及継承に携わる各団体の連携を強化するため、情報交換の場を提供し、今後の地域文化の普及継承に対する機運醸成を図る必要がある。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めた地域の伝統芸能等を集めた公演を開催する。
⑧ その他	引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底のうえ、開催する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○地域や島の伝統行事の伝承・復元等
主な取組	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム・座談会等)を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業			予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	7,414	6,724	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	6,075
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内各地域の伝統行事、伝統芸能、しまくとぅば等の普及・継承についての座談会を2回開催するとともに、映像制作を行い、WEB配信を行った。				県内各地域の伝統行事、伝統芸能、しまくとぅば等の普及・継承についての座談会を1回開催するとともに、映像制作を行い、WEB配信を行う。		

活動指標名	地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	3回	2回	3回	66.7%	やや遅れ	県内各地域の伝統行事、伝統芸能、しまくとぅば等の普及・継承についての座談会を2回開催するとともに、座談会の映像制作を行い、WEB配信を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>地域における旧正月の伝統行事や伝統芸能を取り上げ、文化の継承をテーマに座談会を行った。当初は3回を予定していたが、コロナ禍の影響により、座談会の出演者の調整が難航したことから、2回の開催となった。一方で、座談会の映像制作を行い、WEB配信を行い、内容の充実を図った。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウムや、地域の伝統芸能を集めた公演を、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底の上で開催する。 地域の伝統芸能等に関するテーマを1つ取り上げた講演会を開き、複数の地域を招いて情報交換の場を提供することで、県民1人1人が自身の地域の伝統文化を見つめ直すよう機運醸成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でシンポジウムを座談会に変えて行い、Web発信することで遠方からもアクセスがあるなど、これまでとは違った方面にアピールすることができた。「特選 沖縄の伝統芸能」では短時間にお客様が殺到することから、物販を中止し、席もすべて指定席にするなど工夫した。調査事業でも各地域でそれぞれ課題が出てきた。 地域の伝統芸能等に関する講演会は、コロナ禍により開催できていない。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	各地域の特色・違いを再発見してもらい、愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウムを開催する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会の開催、座談会のWEB配信を行う。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルスの感染状況にも留意しつつ、公演の開催方法を検討する必要がある。	⑧ その他	引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底のうえ、シンポジウム・座談会等を開催する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信
主な取組	琉球料理传承人の育成・フォローアップ		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	<p>・本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的な食文化である琉球料理や琉球泡盛については、琉球料理传承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材(琉球料理传承人)の育成講座・フォローアップ講座を実施する。	県	沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材(琉球料理传承人)の育成講座・フォローアップ講座の実施		
		講座参加人数(累計)		
		70人	70人(140人)	70人(210人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業			予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		19,537	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	20,997
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、担い手育成及びフォローアップ講座等を実施した。				沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施する。		

活動指標名	講座参加人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	53人	70人	75.7%	概ね順調	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、担い手育成講座及びフォローアップ講座並びに講師養成を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新たな担い手を13名育成するとともに、既存の琉球料理传承人36名に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施し、琉球传承人に対し育成を行う講師を4名認定しており、次世代の担い手を育成することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	新規の育成のみではなく、既存の传承人のフォローアップや講師の育成を図ることにより、琉球料理传承人全体としての理解・技術を高めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	担い手の育成・フォローアップについて、担い手は一定数の人数が確保された一方、フォローアップ講座の受講者数が想定よりも少ない状況となっている。	⑦ 取組の時期・対象の改善	令和5年度の取組については、既存の担い手に対する取組を重視し、フォローアップ講座の開催を増やすことで、受講者の増につなげる。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信
主な取組	伝統的食文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	<p>・本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的な食文化である琉球料理や琉球泡盛については、琉球料理传承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の伝統的な食文化に関する情報発信・普及啓発のため、琉球料理传承人出前講座を実施する。	県	沖縄の伝統的な食文化に関する情報発信・普及啓発		
		琉球料理传承人出前講座の参加者数(累計)		
		100人	100人(200人)	100人(300人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業			予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		19,537	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	20,997
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理传承人出前講座を実施した。				沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理传承人出前講座を実施する。		

活動指標名	琉球料理传承人出前講座の参加者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	145人	100人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球料理传承人出前講座を通じ、学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等複数のジャンルの団体に出前講座を実施することにより、幅広く情報発信を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄の伝統的な食文化は若い世代を中心とした伝統料理離れが進み失われつつある中、沖縄の伝統的な食文化に関する認知度は依然低い状況となっている。	⑧ その他	沖縄の伝統的な食文化について、传承人活動を強化するなどこれまで以上にPR活動に尽力する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施策	④文化財の保存・活用
			施策の小項目名	○貴重な文化遺産の後世への継承
主な取組	戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産の調査研究		対応する成果指標	文化財の指定件数(累計)
施策の方向	・文化財の新たな指定に向けた調査、米軍基地内を含む埋蔵文化財の各種調査と保存・活用、在外文化財の調査、戦災文化財の復元等を進め、貴重な文化遺産の後世への継承に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の文化遺産等から得られる学術的知見や科学分析等の情報を集積し、王国時代の手わざを現代の最高水準の手わざで復元する。また、模造復元品を通して、世界に誇る沖縄の手わざの力を内外へ発信し、琉球王国文化の体系化を図るとともに、文化観光・研究拠点としての沖縄をアピールする。	県	復元製作基本設計		試作品製作
		調査研究等の監修者委員会の開催回数(累計)		
		8回	16回(24回)	16回(40回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業			予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	64,995	14,802	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	18,352
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
9分野の監修者会議を開き、模造復元候補の選定と効果的な発信の検討内容を盛り込んだ基本設計書を作成した。また本事業の報告会を1回開催した。				9分野の監修者会議を実施し、より実現性の高い模造復元候補の絞り込み(35件)と具体的な発信方法を盛り込んだ実施設計書を作成する。		

活動指標名	調査研究等の監修者委員会の開催回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	18回	8回	100.0%	順調	戦災等によって失われた琉球王国時代の文化遺産に係る模造復元品製作と発信業務の9分野の監修者会議を実施し、基本設計を作成した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>平成27年度から令和3年度に取り組んだ65件の模造復元品製作と展覧会等の発信業務を受けて、令和4年度から令和11年度にかけて新たな模造復元品製作と発信業務に取り組むため、令和4年度は8分野（絵画・木彫・石彫・漆芸・陶芸・染織・金工・楽器）の模造復元品の製作と発信業務1分野（合計9分野）の監修者会議を18回開催し、有識者からの意見等を反映し、基本設計書を作成した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・琉球王国文化の理解の向上、事業成果の活用促進のため、模造復元資料の展覧会等や製作工程で得られた知見等を発表する報告会等を県内外で開催することに加え、ウェブ配信や広報メディアを活用した効果的な発信を行う。 ・琉球王国文化を体系的に理解し効果的に発信するため、県内外に散在する文化財を継続して調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球王国文化の理解の向上、事業成果の活用促進のため、模造復元資料の展覧会等や製作工程で得られた知見等を発表する報告会等を県内外で開催することに加え、ウェブ配信や広報メディアを活用した効果的な発信を行うことを基本設計書に盛り込んだ。 ・令和4年度には179件の県内外に散在する文化財を調査した。次年度以降も琉球王国文化を体系的に理解し効果的に発信するため、調査を継続する予定である。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	模造復元に関して、昨今の社会情勢の変化による原材料の枯渇や高騰に留意した原材料の確保が必要である。また、工芸関係者や職人等の製作者の確保が課題である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	模造復元の製作工程等を広く紹介するための発信方法を工夫する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	復元候補の中から、原材料や製作者の確保等を検討したうえで優先順位をつけ、より実現性が高い模造復元対象資料を絞り込む。
⑤ 情報発信等の強化・改善	模造復元の製作工程等を広く紹介するための効果的な発信方法を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○新たな文化芸術創出の促進や文化芸術の発展を担う人材の育成
主な取組	九州芸術祭(文学賞)の実施		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数(累計)
施策の方向	・文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出を促進するとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
芸術文化の発展を担う人材の育成を図るため、九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品(小説)の公募を行い、最優秀作を選定する。最優秀作は「文学界」(文藝春秋)に掲載される。	県	文学賞の実施		
		応募作品件数(累計)		
		30件	30件(60件)	30件(90件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	九州芸術祭事業費			予算事業名	九州芸術祭事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担	1,350	1,350	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	1,350
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
九州芸術祭文学賞として未発表の作品（小説）の公募を行い、県内からは25作品の応募があった。結果、野原誠喜氏の作品が地区優秀作となった。				芸術文化の発展を担う人材の育成を図るため、九州芸術祭文学賞として、未発表の文学作品（小説）の公募を行い、最優秀作を選定する。		

活動指標名	応募作品件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		35件	32件	25件	30件	83.3%	概ね順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

九州芸術祭文学賞の応募数が25作品あり、一定程度、県民の文学に対する意識向上が図られたと考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・県及びマスコミ等の広報媒体を活用し、広報周知の強化を図る。	・報道機関や市町村、文化協会など関係団体への周知依頼に加え、県のTwitter等による広報を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	応募作品数は横ばい傾向にあるものの、応募者全体でみると入賞者に若い世代が入ってきている。	⑤ 情報発信等の強化・改善	応募作品数を増加させるため、応募件数が少ない若年層への広報周知を強化する必要がある。 R5年度はカラーのチラシを配付やホームページでの情報掲載をおこなう。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○新たな文化芸術創出の促進や文化芸術の発展を担う人材の育成
主な取組	おきなわ文学賞の実施		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数(累計)
施策の方向	・文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術など、県民の主体的・創造的な芸術文化活動による新たな文化芸術の創出を促進するとともに、本県の文化芸術の発展を担う人材の育成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県民及び県外・海外の県系人から文学作品を広く公募することで、本県における文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施する。	県文化振興会	文学賞の実施		
		おきなわ文学賞作品応募者数(累計)		
		150人	150人(300人)	150人(450人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費			予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	—	51,682	51,714	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	54,577
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
文学活動の推奨及び県民文化の振興を目的として、おきなわ文学賞を実施した。				令和5年度においても、引き続き、おきなわ文学賞を実施する。		

活動指標名	おきなわ文学賞作品応募者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	277人	254人	150人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は、募集部門の減少（琉歌部門、シナリオ・戯曲部門が休止）があったが、概ね前年度並みの応募者数があった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	県内高等学校へ「おきなわ文学賞」作品募集の告知を行うことにより、若年層の応募につながった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「おきなわ文学賞」については、平成17年度から継続して取組を実施しており、一定の応募作品数があるが、広く一般的な認知度が向上していない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	文化振興会ホームページ等に過去の受賞者のインタビュー等を掲載することにより、おきなわ文学賞の認知度向上を図り、応募者数の増につなげていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○沖縄県立芸術大学における支援体制の整備やキャリア支援の推進
主な取組	沖縄県立芸術大学における就職支援		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数(累計)
施策の方向	<p>・幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県立芸術大学において、学生へのきめ細かな就職支援を行うため、企業と連携した説明会等に取り組む。	県,沖縄県立芸術大学	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓		
		学内合同企業説明会の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>多数の企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行った。</p>				<p>多数の企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職に向けた支援を行う。</p>		

活動指標名	学内合同企業説明会の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		1回	2回	3回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

学生の特性にマッチングできる企業を参集した合同企業説明会は3回実施し、延べ数で企業16社（県内5社、県外11社）が参集した。また、学生、教職員及び保護者向けのセミナー、研修及び講演会等を開催した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
引き続き、学内合同企業説明会は、クリエイティブ系を必要としている県内外の企業に参加を促すことで、就職先のマッチングが図られる取組に繋げていく。	合同企業説明会には県内・県外から芸大の特性に合った企業を招へい。前日に就活ワークショップを開催し、自己分析や自己PRの方法等について支援した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	引き続き、学生が専門性を活かせる就職先を構築するため、合同企業説明会等の就職先のマッチングが図られる取組を行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、学生と企業のマッチングを主な目的とした合同企業説明会を継続して行い、学生の就職支援に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	①創造的文化芸術の発展を担う人材の育成
			施策の小項目名	○沖縄県立芸術大学における支援体制の整備やキャリア支援の推進
主な取組	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進		対応する成果指標	沖縄県立芸術大学の卒業者数(累計)
施策の方向	<p>・幅広い芸術を専門的に学ぶ教育機関である沖縄県立芸術大学については、様々な学生が心身ともに充実した学生生活を送り、意欲的に学修に取り組むことができるよう、学修支援、生活支援等の学生へのきめ細かな支援体制を整備するほか、学生が個性や能力を生かし希望した進路に進むことができるよう、キャリア支援を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
公立大学法人沖縄県立芸術大学に対して一般運営費交付金を交付し、その運営を支援することで、中期目標で示す同大学の建学の理念を踏まえた基本目標の達成に資する。	県, 沖縄県立芸術大学	沖縄県立芸術大学における教育研究活動の推進		
		沖縄県立芸術大学への交付金の交付		
		交付	交付	交付
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/bunka/index.html □	

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（一般）			予算事業名	公立大学法人沖縄県立芸術大学運営費交付金等交付事業（一般）	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	1,303,996	1,303,996	県単等	補助	1,296,996
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援した。				公立大学法人沖縄県立芸術大学の法人収入のみでは不足する運営に係る経費について、一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援する。		

活動指標名	沖縄県立芸術大学への交付金の交付		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援する。
		交付	交付	交付	交付	100.0%	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	一般運営費交付金を交付するにあたり、資金不足等が生じないよう法人の年間を通じた資金需要に配慮しつつ四半期ごとに傾斜配分した額を交付し、運営を支援した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	社会・経済情勢の変化や、沖縄県立芸術大学の財務状況等に留意しつつ、一般運営費交付金を交付する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を年度毎に交付し、その運営を支援していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
伝統芸能を鑑賞する機会の少ない層に向けて働きかけるとともに、伝統芸能を鑑賞する機会を提供する。	県,国立劇場おきなわ	伝統芸能を鑑賞する機会の少ない層に向けた働きかけ及び伝統芸能鑑賞機会の提供		
		鑑賞層を拡大するための支援件数(累計)		
		40件	40件(80件)	40件(120件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.nt-okinawa.or.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業			予算事業名	国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担	1,250	1,585	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	1,427
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
国立劇場おきなわの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成を実施した				国立劇場おきなわの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成を実施する。		

活動指標名	鑑賞層を拡大するための支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	54件	36件	57件	40件	100.0%	順調	国立劇場おきなわの自主公演を鑑賞することが少ない層が国立劇場おきなわの公演鑑賞に足を運ぶことを目的とし、国立劇場おきなわでの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国立劇場おきなわでの自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施したことで、目標値を超える団体数へ助成を行い、伝統芸能鑑賞に繋げることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校団体の児童生徒30名につき引率職員2名を無料とすることや、学童向けに引率・児童生徒の割引を行うなど、鑑賞しやすいプランを作った。 ○県内学校団体・学童等にバス助成を活用した芸術鑑賞について案内した。 ○小中校長会で「沖縄芝居鑑賞教室」での学習を推奨した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	国立劇場おきなわの客層について高齢化が課題となっており、伝統芸能の保存振興のためには、新たな客層の開拓が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	今後も鑑賞層の拡大に繋げるために、引き続き自主公演鑑賞団体を対象とした貸切バス費用の助成等を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
都市部と比較して実演家による文化芸術舞台公演に触れる機会の少ない北部・離島地域において、文化芸術の鑑賞の機会を提供することで、芸術の感動を体感できる環境づくりを行う。	県	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供		
		北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供数(累計)		
		2公演	2公演(4公演)	2公演(6公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 地域の文化芸術振興事業				予算事業名 地域の文化芸術振興事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	3,186	3,468	県単等	委託	3,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
離島・北部地域において実演家による参加型・体験型の文化芸術舞台公演を行い、文化芸術体験機会を提供した。				離島・北部地域において実演家による参加型・体験型の文化芸術舞台公演を行い、文化芸術体験機会を提供する。		

活動指標名	北部・離島地域における文化芸術体験機会の提供数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2公演	2公演	3公演	2公演	100.0%	順調	令和4年度は、東村（北部地域）で子ども向けのコンサートを1公演、大人向けのコンサートを1公演（いずれもクラシック）開催し、竹富町（離島地域）でジャズコンサートを1公演実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>目標値の2公演を上回り、3公演実施したため順調と判断した。 離島地域の公演にあたっては、公演前にオンラインでワークショップを開催し、公演でそれをワークショップの成果を披露してもらう取組を行い、参加型・体験型の文化芸術体験機会を提供することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>北部・離島地域においては、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては開催が困難となる場合があるため、オンライン等の対応が対応可能な文化団体に公演を委託する必要がある。</p>	<p>企画提案仕様書に公演実施が困難な場合の代替策を提案するよう盛り込んだ。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	北部・離島地域の公演では、集客にもっと力を入れる必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	北部や離島で公演機会が少ないジャンルの公演を企画するなど、住民ニーズを踏まえた公演内容を検討する。
⑤ 情報発信等の強化・改善	企画提案公募の情報について、HPでの公表のほか、関係団体に周知するなど、積極的に広報・周知し、応募件数を増やす。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	沖縄県芸術文化祭の実施		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出する。	県文化振興会	沖縄県芸術文化祭にかかる広報及び観客誘致		
		沖縄県芸術文化祭【展示部門】及び【舞台部門】の観客数(累計)		
		6,000人	6,000人(12,000人)	6,000名(18,000人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	沖縄県芸術文化祭事業費			予算事業名	沖縄県芸術文化祭事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
県単等	負担	4,718	4,718	主な財源	実施方法	当初予算額	
				県単等	負担	4,718	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
<p>作品の応募 (501点) があったほか本展の展示部門において昨年度の来場 (5,086人) があり、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できた。</p>				<p>沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出する。</p>			
活動指標名	沖縄県芸術文化祭【展示部門】及び【舞台部門】の観客数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	984人	5,440人	6,157人	6,000人	100.0%	順調	<p>沖縄の芸術文化の発展及び発展を担う人材を育成するため、作品を募集し、審査のうえ直接文化芸術に触れる機会を創出する。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和3年度とほぼ横ばいの来場者数(6,157人)があったことから、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できたと考え、順調の判定としている。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
・来場者および出品者の関心を引くような広報の方策を検討・実施するなどの工夫を行う。	・特に若い世代と芸術鑑賞になじみのない層にアプローチするため、県広報誌への掲載やコンビニエンスストアのチラシ配布の依頼の取り組みを行った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄県芸術文化祭において、観客者数を増やすためには、特に若い世代と芸術鑑賞になじみのない層にアプローチする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、県広報誌への掲載やコンビニエンスストアのチラシ配布、県広報課でのツイッターでの配信等の取り組みを行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	九州芸術祭(舞台公演)の実施		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
芸術文化の発展を担う人材の育成を図ることや県民に国の重要無形文化財である組踊や琉球舞踊等、伝統芸能の鑑賞機会を広く提供することを目的に、舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を実施している。	県文化振興会	九州芸術祭における舞台公演の実施		
		舞台公演数(累計)		
		1公演	1公演(2公演)	1公演(3公演)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】	関連URL	—	

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	九州芸術祭事業費			予算事業名	九州芸術祭事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担	1,350	1,350	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	1,350
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
舞台公演として重要無形文化財保持者等公演を令和4年12月10日に伊平屋村連携拠点センターで行った。				舞台公演として重要無形文化財保持者等公演の実施を予定している。		

活動指標名	舞台公演数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		1公演	0公演	1公演	1公演	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和3年度は新型コロナの影響で公演することができなかったが、令和4年度は実施できたため、多くの県民に文化芸術に触れる機会を提供できたと考え、順調の判定としている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
沖縄の伝統芸能の普及という面から、公演の鑑賞だけでなく、ワークショップ等を行い、幅広い世代が公演を楽しめるように工夫を行った。	開催地域の教育委員会と連携し、小学校でワークショップを行い、成果発表として本公演にも出演する機会を設けた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄芸術文化の幅広い地域での発展のために、公演を行う地域については、工夫を行う必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	公演の開催地域については、沖縄県全域に沖縄芸術文化を広く提供できるように、選定する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくり
主な取組	県内市町村等の文化芸術に対する支援の促進		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・高齢者や障害者、青少年をはじめ広く県民が、国内外の優れた文化芸術を鑑賞できる機会を拡充し、文化創造活動の尊さや芸術の感動を体感できる環境づくりに取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化芸術の持続的な振興のために、企業等の文化芸術に対する支援や連携を促進し、芸術家等の活動基盤の発展に取り組む。	県,市町村,民間団体	一般財団法人地域創造が行う助成事業等の活用		
		県内における助成事業の採用件数(累計)		
		3件	3件(6件)	3件(9件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	芸術・文化推進事業			予算事業名	芸術・文化推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担	11,157	11,157	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	11,157
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
地方公共団体が行う文化等に対する財政支援や地域の文化環境づくりを目的とした各種モデル事業を実施している財団法人地域創造に負担金を拠出した。				引き続き、財団法人地域創造への負担金拠出を予定している。		

活動指標名	県内における助成事業の採用件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	3件	5件	3件	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は、助成事業の採用件数は5件となり、2件増となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・各地域の特色・違いがある伝統芸能について愛着を持ってもらうため、地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業等を行っていく必要がある。	・助成事業を行っている地域創造の連絡調整を継続し、地方公共団体等の文化振興の発展を支援した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	文化の担い手は小さい団体が多く、独力では企画能力等の人材育成に限界がある。	② 連携の強化・改善	引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業を支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催
主な取組	美ら島おきなわ文化祭2022の開催に向けた取組		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・2022年に開催する「美ら島おきなわ文化祭2022」の成功に向けて、市町村、関係機関、県民等一丸となって取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県主催事業として、総合フェスティバル開閉会式、沖縄文化発信事業、シンポジウム、国際交流事業、障がい者交流事業を実施する。	県	美ら島おきなわ文化祭2022の開催		
		美ら島おきなわ文化祭2022(国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭)の開催に向けた取組		
		実施	—	—
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	美ら島おきなわ文化祭2022開催事業			予算事業名	美ら島おきなわ文化祭2022開催事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	—	357,643	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	その他	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内市町村、全国の文化団体等と連携し、沖縄文化の発信と継承、発展に係る事業を行った。				公式記録及び実施状況などについての問合せ対応を行う。		

活動指標名	R4年度					進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
美ら島おきなわ文化祭2022 (国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭) の開催に向けた取組	0	0	100	実施	100.0%	順調	県内市町村、全国の文化団体等と連携し、沖縄文化の発信と継承、発展に係る事業を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年10月22日から11月27日までの37日間開催され、県内全市町村で164事業が開催され、58万人の来場者があった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	文化祭終了後も、沖縄県文化・芸術活動の継承と発展を目指し、沖縄県民の域内観光を含め県内各地の文化芸術のファン層を広げるなど、観光との有機的な連携の促進事業を実施した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	今大会での経験や体験、新たな発見を、県民の文化芸術活動の充実や文化芸術交流の推進として、未来への新たな創造に繋げていけるかが課題としてある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	沖縄文化芸術振興計画において、沖縄大会での経験や体験を活かし、県民等の文化芸術活動の充実や、文化芸術交流の推進に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信
主な取組	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・地域の歴史、伝統的風習、伝統行事等に対する住民の愛着心を醸成し、地域外との交流を通じた地域文化の掘り起こしに加え、県内各地で開催されている伝統芸能や地域行事の積極的な発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
歴史・文化関連事業及び催物の開催に関する情報を発信する。	県,市町村,民間団体	歴史・文化関連事業及び催物の開催		
		歴史・文化関連事業及び催物件数(累計)		
		100件	110件(210件)	120件(330件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業			予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	12,823	10,155	県単等	委託	17,752
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。				琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。		

活動指標名	歴史・文化関連事業及び催物件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	88件	105件	100件	100.0%	順調	市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を県民自らの手で創造していくことを図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	県のみならず市町村や関連団体等に幅広く取組を募ることにより、目標達成に大きく寄与した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和3年度から同取組を行っているが、「琉球歴史文化の日」の県民の認知度が低い。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、市町村や関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・ 地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化資源を活用した体験プログラムを構築し実施する。	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数(累計)		
		10回	10回(20回)	10回(30回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業			予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		27,409	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	26,050
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
選定した文化団体を県内施設へ派遣し、演舞とワークショップを実施した。遡及動画を製作しYouTubeで配信した。				新たに選定した文化団体を県内施設へ派遣し、上演とワークショップを開催する。		

活動指標名	文化体験プログラムの実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	6回	10回	60.0%	やや遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

観光施設や宿泊施設において、文化体験や芸能公演をコンテンツとして活用した誘客を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	旅行業界関係者への演舞披露や、文化芸能セミナー、両者による交流会を開催した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	イベント時期に派遣依頼が重なり、演者派遣を対応できないことがあった。	② 連携の強化・改善	演者同士の繋がりや、派遣時期を早めに調整するなどし、実施回数目標値を達成できるよう努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	琉球料理伝承人派遣事業(出前講座)		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球料理伝承人派遣事業(出前講座)を実施する。	県	琉球料理伝承人派遣事業(出前講座)の実施		
		琉球料理伝承人出前講座への参加者数(累計)		
		100人	100人(200人)	100人(300人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業			予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		19,537	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	20,997
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理传承人出前講座を実施した。				沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理传承人出前講座を実施する。		

活動指標名	琉球料理传承人出前講座への参加者数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	145人	100人	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球料理传承人出前講座を通じ、学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	学校関係者、食関連業界団体及び修学旅行関係者等複数のジャンルの団体に出前講座を実施することにより、幅広く情報発信を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄の伝統的な食文化は若い世代を中心とした伝統料理離れが進み失われつつある中、沖縄の伝統的な食文化に関する認知度は依然低い状況となっている。	⑧ その他	沖縄の伝統的な食文化について、传承人活動を強化するなどこれまで以上にPR活動に尽力する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組の推進
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・ 地域に伝承するエイサー等の伝統行事や地域の食文化など、地域の個性豊かな文化資源の特性に応じたまちづくりに資する取組を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県、市町村、関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数(累計)		
		12件	12件(24件)	12件(36件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球文化日本遺産事業			予算事業名	琉球文化日本遺産事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担		1,400	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	1,400
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図った。				琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図る。		

活動指標名	Webサイトでの情報発信件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		—	—	11件	12件	91.7%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ホームページを活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を図ることにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体が主催のイベント等の情報発信を合わせて行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和6年度に日本遺産認定継続の審査を控えており、引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく必要がある。	⑧ その他	引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	③文化資源を活用した地域づくり
			施策の小項目名	○文化芸術活動を支える仕組みの充実
主な取組	文化芸術関係団体等への助成		対応する成果指標	県内の文化芸術に関する取組を行う団体等への支援件数
施策の方向	・文化関係団体や企業の文化芸術活動に対する支援を促進し、社会全体で文化芸術活動を支える仕組みの充実に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の文化関係団体等を対象として①文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取組、②文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取組、③文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取組を採択し支援する。	県	県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組		
		県内文化芸術団体等への助成件数(累計)		
		22件	22件(44件)	22件(66件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	https://www.okicul-pr.jp/oac/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄文化芸術の創造発信支援事業			予算事業名	沖縄文化芸術の創造発信支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	125,584	74,499	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	80,709
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内の文化関係団体等が実施する取組22件を採択し支援した。				引き続き、県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組等を公募、審査、採択し、支援を行う。		

活動指標名	県内文化芸術団体等への助成件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	89件	63件	22件	22件	100.0%	順調	県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組等を公募、審査、採択し、支援を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内文化関係団体等による取組等を公募、審査、採択し、支援を行うことで、本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術等の文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に引き続き、本事業による支援事例をweb上で紹介するほか、支援事例集の配布を通じて、事業趣旨の周知を図る。 離島を含み、県内各地に、地域の多様な主体（企業、教育機関、医療・福祉機関、NPO等）向けに、文化芸術資源を活用する取組への意欲喚起に向けたセミナー等を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 採択事業の支援事業集を発行し、Web上に掲載した。 令和4年度は、文化芸術資源の活用についての意欲喚起に向けたセミナーを2回開催し、事業の周知、応募の掘り起こしを図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県には多様で豊かな文化資源がある一方で、伝統芸能の実演家やアーティストが活躍できる場が少なく、文化芸術創造活動を支える仕組みが十分とはいえないことから、取組を更に充実させる必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、文化芸術関係団体等へのハンズオン支援を行うとともに、文化芸術資源を活用する新たな取組の創出に向けた広報・相談等を行うことにより、文化芸術活動を支える仕組みを充実させる。
		⑥ 変化に対応した取組の改善	県内アーティスト等の多様な活躍の場を設けるため文化芸術人材バンクの運用を開始する。また、文化芸術に携わる人材の育成を目的とする担い手育成講座を実施する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	沖縄県立博物館・美術館の管理運営		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄の文化芸術発信拠点として、博物館・美術館の利活用促進を図るため、各種展示・関連催事等の魅力アップ、調査研究活動の充実、情報発信の強化等、県民や観光客を惹きつける博物館・美術館作りに取り組む。また、来館者が安全・快適に施設を利用できるよう施設・設備の保全修繕に努める。	県	来館者の増加に向けた周知広報等の取組		
		来館者数(累計)		
		21万人	33万人(54万人)	50万人(104万人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	博物館・美術館費			予算事業名	博物館・美術館費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	84,937	78,615	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	95,683
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
常設展・コレクション展のほか企画展・特別展を計8回開催するほか、県民を対象とした学芸員講座、バックヤードツアー等を実施した。				常設展・コレクション展のほか企画展・特別展を計8回開催するほか、県民を対象とした学芸員講座、バックヤードツアー等を引き続き実施する。		

活動指標名	来館者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	15.7万人	14万人	32.7万人	21万人	100.0%	順調	収蔵資料を展示する常設展・コレクション展のほか、企画展・特別展を計8回開催した。また、学芸員講座、バックヤードツアー、文化講座等を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄の自然や歴史・芸術文化等に関する常設展や、沖縄の復帰50周年を踏まえた本県の発展と葛藤の振り返り・歴史や文化を再考する特別展等の開催、関連イベントや学芸員講座など多彩な催事に取り組んだ。令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響で繰り返しの臨時休館を余儀なくされたが、令和4年度は感染拡大防止対策を徹底しながら臨時休館は行わずに各種取組を進めた結果、来館者数の目標値を大幅に上回る結果となった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 施設や展示設備の修繕等を計画的に実施し、県民等の利用しやすい環境を整える。 指定管理者と連携し、県内各、特に、県内小中高、学校関係者の利用促進を図るため、周知広報に努めるとともに、コロナ禍に鑑みWEBを活用した動画配信等の情報発信に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 県民が利用しやすい観覧環境の整備として、不具合・故障等が生じていた博物館常設展示室内の映像投射用のプロジェクター等の更新、その他館内設備の修繕等を実施した。 指定管理者と連携し、来館者増を図るため、WebやSNS等を活用した当館実施イベントの広報発信等に取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	開館から15年が経過し、空調設備等をはじめ施設・設備の経年劣化等による不具合・故障等が増えている状況にあり、館の安定的な管理運営に支障を生じさせる可能性がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
③ 他地域等事例を参考とした改善	施設設備の稼働状況を随時確認しながら、必要な緊急修繕等を行いつつ、緊急度・優先度を勘案しながら計画的な修繕・更新を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	美術館資源発信基盤整備事業		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	<p>・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
美術館が保管している膨大な二次資料を一次資料とともにオンラインで公開・周知できるよう整理し、発信基盤を整備する。	県	美術館収集資料の整理・アーカイブ化	美術館収集資料の整理・アーカイブ化、美術館資料データベースの構築	
		美術館収集資料のデータベース構築に向けた資料群の整理件数(累計)		
		2件	2件(4件)	2件(6件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	美術館資源発信基盤整備事業			予算事業名	美術館資源発信基盤整備事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
県単等	直接実施	2,492	2,380	主な財源	実施方法	当初予算額	
				県単等	直接実施	12,766	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
美術館が保管している膨大な二次資料情報のオンライン公開・周知に向けて、資料の区分作業等の整理を行った。				引き続き、美術館が保管している膨大な二次資料情報の区分作業等の整理を行うとともに、web型システムパッケージの導入に向けた取組を進める。			
活動指標名	美術館収集資料のデータベース構築に向けた資料群の整理件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	2件	2件	100.0%	順調	二次資料をオンラインで公開・周知するための整理作業を行った。いまだ膨大な資料があり、他作家に関する整理を必要とするため、継続的に整理を進めていく。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>当館の収集対象として毎年増え続ける膨大な二次資料について、内容の詳細確認・検討の結果、作家の作品本体（一次資料）と位置付ける必要があるものや、資料としての分類が難しいもの、新たな資料として価値を見いだされる資料の発見等もあり、緻密な区分作業等を求められる中においても、今年度は主に4名の作家の資料整理を進めることができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>二次オンラインで公開・周知するための膨大な情報量の整理作業について、関連する情報等を整理するなどの工夫をして推進する。</p>	<p>約13000件以上にわたる二次資料、および5800件の作品の作業について、継続的な取り組みを行うことができています。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>館の収蔵資料等に係る各分野の検索・情報発信システムがIT技術の進歩等により相対的に旧式化しており、利用者の利便性の向上の観点から、館全体として見直し・更新を進める必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	<p>館全体として効果的・効率的なシステム構築を図るため、各分野の閲覧・情報発信システムの共用可能な機能確保の検討など、博物館および美術館が協働してシステムの見直し・更新に向けた検討を進める。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
琉球歴史文化の日に歴史文化に関する取組を行う催物等への公共施設の無料開放を実施する。	県	琉球歴史文化の日県有施設の無料開放		
		琉球歴史文化の日に県有施設で実施する歴史文化関連催物件数(累計)		
		10件	10件(20件)	10件(30件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業			予算事業名	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	12,823	10,155	県単等	委託	17,752
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放を行った。				琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放を行う。		

活動指標名	琉球歴史文化の日に関有施設で実施する歴史文化関連催物件数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	5件	10件	50.0%	大幅遅れ	県民が沖縄歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施するとともに、県有施設の無料開放を行った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>琉球歴史文化の日（11月1日）に一部県有施設の使用料及び観覧料を免除することとしているが、歴史文化関連催物での活用が進んでいない。11月1日が平日であったことに加え、使用料の免除に係る周知の不足が要因と考えられる。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の実施改善案	反映状況
—	<p>関連事業の募集と合わせて無料開放の周知を行うことにより、関連事業が開催しやすく、無料開放の実績増につながる環境づくりを行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	使用料免除に係る周知広報等が不足していたと思われる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	琉球歴史文化の日（11月1日）に係る広報に併せ、施設の使用料免除等を周知していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○文化芸術活動の場の創出及び文化発信交流拠点の充実
主な取組	文化発信交流拠点の充実		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・国立劇場おきなわや沖縄県立博物館・美術館、その他の文化芸術施設及び文化芸術施設以外の公共の施設を活用した文化芸術活動の場の創出と、伝統芸能、郷土芸能、大衆芸能等の多様な文化芸術や文化産業等の振興にも寄与する文化発信交流拠点の充実に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化芸術活動の基盤を強化するため、文化施設等に対する調査を実施し、文化発信交流拠点の充実のために必要となる施策を検討する。	県	文化発信交流拠点の充実		
		文化発信交流拠点の充実に向けた取組		
		調査等実施	調査等実施	調査等実施
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 文化発信交流拠点整備事業				予算事業名 文化発信交流拠点整備事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	0	0	県単等	委託	6,098
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内文化施設の稼働率について調査を実施した。				引き続き、県内文化施設の稼働率について調査を行うとともに、文化発信交流拠点の充実に係る調査委託業務を実施する。		

活動指標名	文化発信交流拠点の充実に向けた取組		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	-	調査等実施	調査等実施	100.0%	順調	県内文化施設の稼働率について調査を実施するとともに、今後の取組について検討を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内文化施設の稼働率について、調査を実施したことから、進捗状況は順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	文化発信交流拠点の充実に向けた取組として、県内文化施設の稼働率について、調査を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内文化施設の令和3年度の稼働率を調査したところ、前年度から改善はみられたものの、約40%の稼働率であったことから、文化施設の稼働率を向上させる取組の検討が必要である。	⑧ その他	文化発信交流拠点の充実に関する調査を実施し、必要な施策を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施策	④文化芸術活動を支える基盤の強化
			施策の小項目名	○社会全体で文化活動を支える環境づくり
主な取組	企業の文化芸術に対する支援の促進		対応する成果指標	県内文化施設の稼働状況
施策の方向	・NPO、文化ボランティア活動、企業等の芸術文化支援を促進するなど、社会全体で文化活動を支える環境づくりに取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
文化芸術の持続的な振興のために、企業等の文化芸術に対する支援や連携を促進し、芸術家等の活動基盤の発展に取り組む。	県,企業	県外の財団等が行う文化に関する助成等の活用促進		
		県外の財団等が、県内の文化団体等へ対して行う助成等の件数(累計)		
		6件	6件(12件)	6件(18件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課 【 098-866-2768 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	芸術・文化推進事業			予算事業名	芸術・文化推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	負担	11,157	11,157	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	負担	11,157
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
地方公共団体が行う文化等に対する財政支援や地域の文化環境づくりを目的とした各種モデル事業を実施している財団法人地域創造に負担金を拠出した。				引き続き、財団法人地域創造への負担金拠出を予定している。		

活動指標名	県外の財団等が、県内の文化団体等へ対して行う助成等の件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	6件	10件	6件	100.0%	順調	県外の財団等について、地方公共団体等の自主事業の企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用の推進等を図るため、文化に係わる様々な事業を支援している。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和4年度は、助成事業の採用件数は10件となり、4件増となった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
各地域の特色・違いがある伝統芸能について愛着を持ってもらうため、地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業等を行っていく必要がある。	・助成事業を行っている県外の財団等の連絡調整を継続し、地方公共団体等の文化振興の発展を支援した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	文化の担い手は小さい団体が多く、独力では企画能力等の人材育成に限界がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	引き続き文化の基層であり、地域ごとに特色がある市町村の地域の伝統芸能等を集めた公演等の自主事業を支援する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化
主な取組	関係団体の自主事業に対する支援		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数(1道場あたりの平均)
施策の方向	・沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化を図り、次世代を担う指導者及び後継者の育成並びに県民が沖縄空手に接する機会の創出等に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
空手を活用した産業の創出・振興を図るため、空手関係団体(沖縄伝統空手道振興会)におけるライセンスビジネス等の産業連携事業構築に向けた調査検討と取組推進を図る。	県	関係団体が実施する自主事業に対する支援		
		関係団体が実施する自主事業に対する支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手産業連携構築支援事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手産業連携構築支援事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助		695	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	3,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
自主事業構築に向け、沖縄伝統空手道振興会が行う「沖縄空手」ロゴマークの商標登録に対して、経費を補助した。				沖縄伝統空手道振興会の自主事業構築に向けたライセンスビジネス等の調査検討および支援 (1件) を行う。		

活動指標名	関係団体が実施する自主事業に対する支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1件	1件	100.0%	順調	沖縄伝統空手道振興会が行う「沖縄空手」ロゴマークの商標登録1件に対し補助をすることで、順調に取組を推進できた。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>自主事業に対する支援1件を達成し、順調に取組を推進している。 ロゴマークの商標登録に対する支援によって、ライセンスビジネスの構築に寄与した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	<p>沖縄伝統空手道振興会との密な連携が必要であることから、定期的に調整会議を行うこととした。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和6年度に世界大会が開催予定であり、各企業において大会販売用のロゴマークを活用した商品開発が期待されるため、ロゴマークのライセンス料金や申請方法等に関する規程の整備が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	当事業の補助を受けるためには、単年度毎に新たな事業を構築する必要があるため、「沖縄空手」ロゴマーク以外の自主事業について、引き続き検討する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	沖縄伝統空手道振興会において、ロゴマークの取り扱いについて規程を整備する。県においては、振興会への助言等を行い、ロゴマークを活用したライセンス事業の構築を支援する。
⑧ その他	令和5年度は、沖縄空手のオリジナルキャラクタを活用したライセンス事業について検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立
主な取組	指導者の育成		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数(1道場あたりの平均)
施策の方向	・継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手の技法や精神性の保存・継承と普及・啓発を図るため、流派別に体系書の策定や講習会の開催等を行い、伝統的な指導法を正しく身につけた指導者を継続的に育成する。	県	伝統的な指導法を身につけた指導者の育成		
		指導者の育成に係る取組の実施(累計)		
		指導体系書策定1件	講習会等開催4回	講習会等開催4回(8回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手流派指導体制構築事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手流派指導体制構築事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託		14,623	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	1,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄空手の各流派に通底する沖縄空手の本質、共通する鍛錬法や指導方法を取りまとめ、県内若手指導者が空手入門者に指導する際の体系書を策定した。				伝統的な鍛錬法や技法を次世代へ確実に継承していくため、各流派毎に講習会等を実施する。また、新たに海外派遣向けの指導体系書を策定する。		

活動指標名	指導者の育成に係る取組の実施 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1件	指導体系書策定1件	100.0%	順調	沖縄空手の各流派に通底する沖縄空手の本質、共通する鍛錬法や指導方法などを取りまとめ、県内若手指導者が空手入門者に指導する際の体系書を策定した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>県内主要空手団体4団体の参画のもと体系書を策定することができた。今後は、策定した指導体系書を活用し、各流派毎に講習会等を実施することで、沖縄空手の精緻な技法や精神性を正しく身につけた指導者を育成する。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>沖縄空手世界大会の審判講習会と連動した、定期的な講習会の開催について、実施スキームを検討する。</p>	<p>各流派ごとに、型の確認や会派別で異なる所作についての許容範囲を把握するための講習会を開催するにあたり、スケジュールやプログラムを作成した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	<p>伝統空手の統一団体である(一社)沖縄伝統空手道振興会において、各流派ごとに道場間の交流等や各会派で異なる所作についての許容範囲の確認を定期的に行う必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>沖縄伝統空手道振興会において、各流派ごとに、型の確認や会派別で異なる所作についての許容範囲を把握するための講習会を開催するにあたり、スケジュールやプログラムを作成するための人員配置を行う。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立
主な取組	国内への指導者の派遣		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数(1道場あたりの平均)
施策の方向	・継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手を保存・継承・発展させるため、空手指導者を国内外に派遣し、現地で空手演武、交流演武、セミナー等を行うことで、指導者及び継承者の育成を図るとともに、国内外での沖縄空手の普及・啓発を図る。	県	国内指導者派遣		
		沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数(累計)		
		1都道府県	1都道府県 (2都道府県)	1都道府県 (3都道府県)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手指導者派遣事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手指導者派遣事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	0	15,716	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	15,716
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
海外1カ国、国内1都道府県へ空手指導者を派遣し、現地でセミナーの開催や空手演武を行い、沖縄空手の普及・啓発を行った。				沖縄伝統空手道振興会等の空手関係団体と連携し、海外2カ国程度、国内1都道府県へ指導者を派遣し現地でセミナー等を実施する。		

活動指標名	沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		国内指導者派遣 1都道府県	0都道府県	1都道府県	1都道府県	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

海外及び国内でセミナーや空手演武を披露し、沖縄空手の普及・啓発を行った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。	沖縄空手のユネスコ登録を目指した活動と連携し、ユネスコ本部のあるフランスにおいて沖縄空手のセミナーや歴史などを披露し、沖縄空手の普及・啓発が図られた。また、令和4年は船越義珍の空手本土普及100周年であるため、県外の空手団体と連携し、本場沖縄の空手演武を披露する機会を設け、沖縄空手の普及・啓発が図られた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	国内外へ派遣する空手指導者について、(一社) 沖縄伝統空手道振興会の推薦で派遣する制度では、派遣人数が最少人数となるため、より多くの指導者を海外・国内へ派遣する取組方法への変更が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	委託事業では県が派遣先・日程・人数を決定するため、より柔軟に国内外へ派遣できるよう、補助事業として(一社) 沖縄伝統空手道振興会から派遣指導者への旅費補助へと制度変更することを検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○幼少期における空手の体験機会の創出
主な取組	学校への講師の派遣		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数(1道場あたりの平均)
施策の方向	・競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
幼少期から空手に触れる機会を創出するため、県内小中高校へ空手指導者を派遣し、出前講座を実施する。	県	空手指導者を県内各地に派遣		
		小中高校への空手指導者の派遣校数(累計)		
		小中高校3校	小中高校4校(7校)	小中高校5校(12校)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手県内普及促進事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手県内普及促進事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	3,585	7,136	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	10,164
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内小学校6校、中学校1校に空手指導者を派遣し、計759名の児童生徒が参加した。				昨年度と同水準の規模で小中高校へ派遣するとともに、新たに保育所等にも指導者派遣を実施し、計8校以上の派遣を目指す。		

活動指標名	小中高校への空手指導者の派遣校数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	1校	7校	小中高校3校	100.0%	順調	県内小学校6校、中学校1校に空手指導者を派遣し、計759名の児童生徒が出前講座に参加した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和4年度は目標3校に対して、実績7校となっている。学校の総合学習の時間等を活用し、空手の技のみならず歴史まで学習する機会を創出することで、空手を文化として普及することができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。	「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、空手関係者や県内小中高校と連携し、沖縄空手の普及・啓発を推進した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	派遣先の学校に対して、近隣の市町村に道場を持つ指導者を派遣したが、子ども向けに指導できる指導者が不足しており、派遣者選定に課題が残った。	① 執行体制の改善	幼少期の子どもに空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○幼少期における空手の体験機会の創出
主な取組	巡回展の開催		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（1道場あたりの平均）
施策の方向	・競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「空手発祥の地・沖縄」についてより多くの方に知っていただくため、収集した空手関係資料を紹介する巡回展を実施する。	県	教育機関と連携した沖縄空手に関する巡回展の開催		
		巡回展の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託		5,500	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	10,200	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
世界遺産座喜味城址ユンタンザミュージアムにて巡回展を開催し、沖縄空手の普及の歴史や背景について、これまで企画展にて展示した内容を紹介した。				宜野座村立博物館にて巡回展を開催し、沖縄空手が国内外へ普及した歴史や背景等を紹介するとともに、宜野座村に関する沖縄空手の資料を公開する。			
活動指標名	巡回展の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1回	1回	100.0%	順調	収集した空手関係資料を紹介する巡回展を令和4年度より実施した。中北部・離島での開催を行うことで、沖縄空手について理解を深める機会を設けた。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
巡回展を計画通り1回実施したため、順調と判定した。また、巡回展の観覧者数についても、県内のみならず、外国人の観覧者数が増加した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。	「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、令和4年度は、令和元年度から令和3年度までに企画展にて展示した内容をまとめた巡回展を開催し、沖縄空手について理解を深める機会を設けることができた。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年度の開催地では、予想以上に来館者数が伸びた。また、外国の方の観覧も多く、沖縄空手に関して、海外の関心も高いと思われる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	社会情勢の変化にかかわらず、インバウンドだけでなく多方面からの集客のため、広報の充実を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○学術研究の深化・発信及び空手愛好家の受入体制強化
主な取組	沖縄空手ガイドの養成		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	<p>・博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及等の博物館法に規定される諸活動により、学術研究の深化・発信を推進するとともに、沖縄空手会館を拠点に官民挙げて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄空手の歴史や県内各地に所在する空手関連顕彰碑及び縁の地等に関心を持っている海外の空手愛好家等のニーズに応えるため、沖縄空手の専門ガイドを育成する。</p>	<p>県</p>	沖縄空手専門ガイドの養成		
		沖縄空手専門ガイドの養成人数(累計)		
		24人	24人(48人)	24人(72人)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (聖地・沖縄空手ガイド養成事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (聖地・沖縄空手ガイド養成事業)		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度			
一括交付金 (ソフト)	委託	11,468	8,583	主な財源	実施方法	当初予算額	
				一括交付金 (ソフト)	委託	12,090	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
通訳ガイドの心得、空手の歴史、特徴、体験、フィールドワーク等のカリキュラムや講座を開設し、英語の専門ガイドを養成した。				通訳ガイドの心得、空手の歴史、特徴、体験、フィールドワーク等のカリキュラムや講座を開設し、英語・中国語・スペイン語の専門ガイドを養成する。			
活動指標名	沖縄空手専門ガイドの養成人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	33人	31人	24人	100.0%	順調	沖縄空手の歴史や特徴等を学ぶ養成講座を実施し、沖縄空手の専用のガイドを養成した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄空手ガイドの養成に係る講座等の実施体制や実施内容を調整し、対面式及びeラーニングを合わせた効率的な知識の定着を図り目標を達成することができた。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>コロナ禍の中でも、安全、安心に学びができ、沖縄文化総体の中の空手の学びや多様な流派の特徴や身体表現、鍛錬法など、観光客の多様なニーズに対応できる体系的な学習体系を確立する必要がある。</p>	<p>受講生が無理なく出席できるようカリキュラムを見直した。空手通訳実務演習の一環として沖縄空手の型「普及型I」の習得、縁の地や道場ツアーなどのフィールドワークを実施し実践的な内容とした。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>受講生の大半が有職者であることから、講義時間については受講生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直す必要がある。</p>
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<p>聖地・沖縄での空手修行や縁の地訪問といった強固な目的意識をもったインバウンドが増えてきており、今後、空手ガイドの需要の増加が想定される。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<p>受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。</p>
⑥ 変化に対応した取組の改善	<p>空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、今後は、英語以外のガイドの養成にも取り組んでいく。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○学術研究の深化・発信及び空手愛好家の受入体制強化
主な取組	国内外の空手愛好家の受入		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	<p>・博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及等の博物館法に規定される諸活動により、学術研究の深化・発信を推進するとともに、沖縄空手会館を拠点に官民挙げて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設するとともに、県内町道場での稽古を希望する国内外の空手愛好家を当該町道場につなぐワンストップ機能を構築する。</p>	県	沖縄空手案内センターの開設		
		コーディネーターの配置人数(内訳)		
		3名	3名(継続3名)	3名(継続3名)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	https://okic.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手案内センター事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手案内センター事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	11,204	9,821	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	11,545
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設し、国内外の空手家と県内町道場とのコーディネートを行った。				沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設し、関係機関と連携した、国内外の空手家と県内町道場とのコーディネート機能の提供を図る。		

活動指標名	コーディネーターの配置人数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	3名	3名	3名	3名	100.0%	順調	沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設し、県内町道場と空手家とのコーディネート業務を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画通りコーディネーターを配置したため、順調と判定した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策の措置等により、一部案内を断念せざるを得ない状況であった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。	「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、国内外の空手家と県内町道場とのコーディネートを行い、空手愛好家の受入体制を強化した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響で来館者や問合せ件数が少なかったが、規制緩和により、年度途中より件数が増加した。	② 連携の強化・改善	引き続き、沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設し、県内道場等と連携して国内外の空手愛好家を当該町道場につなぐワンストップ機能を構築する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手会館の利活用促進
主な取組	企画展の開催		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアムとしての機能強化を図り、「空手発祥の地・沖縄」に対する理解を深めるため、企画展を開催する。	県	沖縄空手会館における企画展の開催		
		沖縄空手会館における企画展の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	4,500	5,500	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	10,200
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
企画展の資料収集、広報活動 (展示解説会等)、展示パネル製作、運搬、設営、運営協力、アンケート分析を行った。				企画展の資料収集、広報活動 (展示解説会等)、展示パネル製作、運搬、設営、運営協力、アンケート分析を行う。		

活動指標名	沖縄空手会館における企画展の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		1回	1回	1回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画どおり企画展を開催することができたため、順調と判定した。施設全体において、県内のみならず、国外からの来訪者が増加したことにより、展示施設への来訪者数も増加した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は中部地域での開催だったが、県内のみならず外国からの来館者数が多かった。引き続き、効果的な広報に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は教育機関の夏期休暇期間中でもあり、学生に向けた周知に力を入れている。紙媒体だけでなく、オンライン周知を行うことで、早期の広報が実現した。 開催地に関連した内容を取り入れることで、オリジナル性のあるパネル展となっている。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	来館者数は、新型コロナウイルス感染症流行前の水準に近づいており、海外からの観覧者も増加した。	④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	観光客数の増加を見込み、国内外からの観覧者を取り込むため、展示内容のさらなる充実を図るとともに、他事業(空手体験等)との連携により、あらゆる世代を誘客できるような開催プログラムとする。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手会館の利活用促進
主な取組	出前講座の開催		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施する。	県	沖縄空手会館における出前講座の開催		
		沖縄空手会館における出前講座の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	直接実施	120	120	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	直接実施	120
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を年6回実施した。				沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施する。		

活動指標名	沖縄空手会館における出前講座の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	1回	100.0%	順調	沖縄空手について、専門家が発表することで、沖縄空手の理解や知識を深める。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
計画どおり1回開催したため、順調と判定した。沖縄空手について、専門家が発表することで、沖縄空手の理解や知識を深めることができた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策等の影響により受講者の制限をしたが、会場選定など見直しを行う。 ・専門性のある講義であるが、より多くの方に受講いただけるよう、開催時期について考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場までのアクセスの利便性を考慮し、駐車場を無料で利用できる施設を選定した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症対策等の影響により、入場者数を制限せざるを得なかった。	⑥ 変化に対応した取組の改善	社会情勢の変化に応じて実施するため、講演会場や開催時期の見直しを行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手の魅力発信
主な取組	沖縄空手の普及・啓発		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等による魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
「空手発祥の地・沖縄」の認知度向上を図るため、県外のイベントにおいて空手演武等を実施する。	県	県内空手家の県外イベントへの派遣		
		県外イベントにおける演武等の実施回数(累計)		
		4回	4回(8回)	4回(12回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手普及・啓発事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手普及・啓発事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	9,246	8,050	一括交付金 (ソフト)	委託	7,301
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県外の観光、物産展等と連携し、沖縄空手の演武ステージを実施した。				県外の観光、物産展等と連携し、沖縄空手の演武ステージを実施する。		

活動指標名	県外イベントにおける演武等の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	2回	3回	4回	75.0%	概ね順調	令和4年度は、東京都、千葉県、北海道の3カ所で空手演武ステージを実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響から、県外でのイベント開催が十分に実施できない状況となっている。9月に開催された「ツーリズムEXPOジャパン 2022」での空手演武ステージ及びPRブース出展においては、2208名が来場者アンケートに回答し、うち56.7%の方が空手発祥の地が沖縄県であることを認知していた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。	「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、空手関係者等と連携し、県外のイベントにおいて空手演武等を実施することで、「空手発祥の地・沖縄」の認知度向上を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	イベントの観覧者へは「空手発祥の地・沖縄」を普及できているが、イベントを観覧していない人やイベント開催地以外の一般層への普及活動ができていないため、県外に幅広く情報発信を行う必要がある。	① 執行体制の改善	県外イベントでの空手演武を実施するにあたって、より多くの人々に観覧してもらえるよう情報発信を行うとともに、イベント外の一般層にも普及できるよう広報の充実を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手の魅力発信
主な取組	沖縄空手関連コンテンツの制作		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等による魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
映像制作会社・メディア等と連携した伝統文化としての沖縄空手の価値等の啓発、観光等に資する沖縄空手映像コンテンツ制作を行うことで、「空手発祥の地・沖縄」の発信強化を図る。 また、沖縄空手を文化資源として活用した空手ツーリズム商品の造成によって来沖者数の増加を図る。	県	沖縄空手関連のコンテンツ制作に対する支援の実施		
		コンテンツ制作に対する支援件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手産業連携構築支援事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手産業連携構築支援事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助		0	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	2,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
応募事業者の辞退により事業が未実施となった。				映像制作会社・メディア等が制作する沖縄空手映像コンテンツに対して補助 (1件) を行う。		
予算事業名				予算事業名	空手ツーリズム受入体制構築事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	10,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
				観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品に対して補助 (2件) を行う。		

活動指標名	コンテンツ制作に対する支援件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	0件	1件	0.0%	大幅遅れ	応募事業者の辞退により事業が未実施となった。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
応募事業者の辞退により支援件数は0件となった。応募事業者の辞退後も再度公募を行ったが、応募がなかったため、大幅遅れとなっている。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	空手関連の商品・コンテンツ制作を支援するため、ツーリズム商品の開発を行う「空手ツーリズム受入体制構築事業」を立ち上げ、予算を確保した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し観光客数が増加しており、令和6年度には少年少女世界大会の開催も予定されていることから、多くの空手愛好家の来訪が予想される。
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄空手産業連携構築支援事業については、交付要綱の調整に時間がかかり、公募開始時期が遅れた。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	令和5年度新規事業である「空手ツーリズム受入体制構築事業」において、観光関連事業者と連携し、新たなツーリズム商品の開発に取り組む。
⑤ 情報発信等の強化・改善	多くの事業者が応募してくれるよう、早めに公募を開始し、公募期間を長く設定する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○世界レベルの大会や国際的なイベントの実施
主な取組	沖縄空手世界大会の開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界に1億3千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通じた国際交流の活性化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手の保存・継承・発展を図るため、次世代を担う空手愛好家を対象とした世界大会を開催する。	県,空手関係団体	大会の開催	大会の開催準備	
		大会参加者数	各種規程の検討等	
		1,600人	各種規程の検討等	各種規程の検討等
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	https://okinawa-karate.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 沖縄空手世界大会開催事業				予算事業名 沖縄空手世界大会開催事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	負担	4,610	64,947	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	負担	38,640
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年8月、15歳以上が対象の「第2回沖縄空手世界大会」及び6歳から14歳以下が対象の「第1回沖縄空手少年少女世界大会」を同時開催した。				令和6年度に開催予定の6歳から14歳以下を対象とした「第2回沖縄空手少年少女世界大会」に向け、開催準備及び県内予選を実施する。		

活動指標名	大会参加者数		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	724人	1,600人	45.3%	順調	第1回沖縄空手少年少女世界大会と第2回沖縄空手世界大会を同時開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、海外・県外からの参加者が入国することが困難となり、目標を下回る参加となったものの、コロナ禍での2大会同時開催を実施することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>令和4年度に開催を予定する第2回沖縄空手世界大会や第1回沖縄空手少年少女世界大会等を本土復帰50周年記念事業に位置づけ、その開催を通じて、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信する。</p>	<p>第1回沖縄空手少年少女世界大会と第2回沖縄空手世界大会を同時開催し、「空手発祥の地・沖縄」の発信に努めた。 また、令和4年度はコロナ禍での開催となったため、感染症対策については、会場の換気、手指消毒の徹底、フィジカル・ディスタンスの確保、演武時以外のマスクの着用など、飛沫感染対策を徹底した。選手においては、ワクチン3回摂取を推奨するとともに、大会会場に設置した検査ブースにて抗原定性検査キットによる陰性確認を行った。大会関係者及び会場来場者については、検温、手指消毒、健康チェックシートの確認を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	感染症の拡大防止に係る制限等については、国内外の感染状況や国の対策方針に合わせて緩和しつつ、参加者が安心して大会に出場できるような運営を行う必要がある。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	新型コロナウイルスの影響が収まりつつあるため、今後開催予定の世界大会においては、今回以上の大会参加者が見込まれることから、よりスムーズな大会運営の方法を検討する必要がある。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	県民や空手関係者以外の方々への大会及び「空手発祥の地・沖縄」を周知し、県民をあげて大会の機運醸成を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	安心安全な大会運営を行うため、大会参加者に基本的な感染症対策を周知、大会参加者の連絡責任者の把握と連絡体制の構築、海外からの参加者の受入責任者に対する必要な管理・支援の周知等を行う。
② 連携の強化・改善	競技運営においては、各コートでの審判員の判断が重要であることから、審判技量の向上を図るため、審判講習会を複数回実施する。
⑤ 情報発信等の強化・改善	空手関係者以外の不特定多数へ向けた広報については、大会サイト及び大会SNSからの情報発信、オンライン広告や関連イベント等、様々な広報・プロモーション方法を駆使し、大会の機運醸成を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○世界レベルの大会や国際的なイベントの実施
主な取組	沖縄空手少年少女世界大会の開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	<p>・世界に1億3千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通じた国際交流の活性化に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
<p>沖縄空手の次世代を担う後継者の育成及び交流人口の拡大を図るため、少年少女(6歳以上14歳以下)を対象とした国際大会を開催する。</p>	<p>県,空手関係団体</p>	大会の開催	大会の開催準備	大会の開催
		大会参加者数	各種規程の策定等	
		2,000人	各種規程の策定等	2,000人
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	https://okinawa-karate.okinawa/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄空手少年少女世界大会開催事業			予算事業名	沖縄空手世界大会開催事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	負担	4,410	64,484	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	負担	38,640
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年8月に6歳から14歳以下を対象とした「第1回沖縄空手少年少女世界大会」を開催した。				令和6年度に「第2回沖縄空手少年少女世界大会」の開催に向け事務局体制を構築し、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を実施する。		

活動指標名	大会参加者数		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1,196人	2,000人	59.8%	順調	第1回沖縄空手少年少女世界大会と第2回沖縄空手世界大会を同時開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、海外・県外からの参加者が入国することが困難となり、目標を下回る参加となったものの、コロナ禍での2大会同時開催を実施することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>令和4年度に開催を予定する第2回沖縄空手世界大会や第1回沖縄空手少年少女世界大会等を本土復帰50周年記念事業に位置づけ、その開催を通じて、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信する。</p>	<p>第1回沖縄空手少年少女世界大会と第2回沖縄空手世界大会を同時開催し、「空手発祥の地・沖縄」の発信に努めた。 また、令和4年度はコロナ禍での開催となったため、感染症対策については、会場の換気、手指消毒の徹底、フィジカル・ディスタンスの確保、演武時以外のマスクの着用など、飛沫感染対策を徹底した。選手においては、ワクチン3回摂取を推奨するとともに、大会会場に設置した検査ブースにて抗原定性検査キットによる陰性確認を行った。大会関係者及び会場来場者については、検温、手指消毒、健康チェックシートの確認を行った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	感染症の拡大防止に係る制限等については、国内外の感染状況や国の対策方針に合わせて緩和しつつ、参加者が安心して大会に出場できるような運営を行う必要がある。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	新型コロナウイルスの影響が収まりつつあるため、今後開催予定の世界大会においては、今回以上の大会参加者が見込まれることから、よりスムーズな大会運営の方法を検討する必要がある。
⑤ 県民ニーズの変化(外部環境の変化)	県民や空手関係者以外の方々への大会及び「空手発祥の地・沖縄」を周知し、県民をあげて大会の機運醸成を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	安心安全な大会運営を行うため、大会参加者に基本的な感染症対策を周知、大会参加者の連絡責任者の把握と連絡体制の構築、海外からの参加者の受入責任者に対する必要な管理・支援の周知等を行う。
② 連携の強化・改善	競技運営においては、各コートでの審判員の判断が重要であることから、審判技量の向上を図るため、審判講習会を複数回実施する。
⑤ 情報発信等の強化・改善	空手関係者以外の不特定多数へ向けた広報については、大会サイト及び大会SNSからの情報発信、オンライン広告や関連イベント等、様々な広報・プロモーション方法を駆使し、大会の機運醸成を図っていく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築
主な取組	海外への指導者の派遣		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界各地への指導者の派遣や海外の空手関係団体等との連携を通して、沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手を保存・継承・発展させるため、空手指導者を国内外に派遣し、現地で空手演武、交流演武、セミナー等を行うことで、指導者及び継承者の育成を図るとともに、国内外での沖縄空手の普及・啓発を図る。	県	海外指導者派遣		
		沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数(累計)		
		海外1カ国	海外2カ国(3カ国)	海外2カ国(5カ国)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手指導者派遣事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手指導者派遣事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	0	15,716	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	15,716
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
海外1カ国、国内1都道府県へ空手指導者を派遣し、現地でセミナーの開催や空手演武を行い、沖縄空手の普及・啓発を行った。				沖縄伝統空手道振興会等の空手関係団体と連携し、海外2カ国程度、国内1都道府県へ指導者を派遣し現地でセミナー等を実施する。		

活動指標名	沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	海外指導者派遣	2カ国	0カ国	1カ国	海外1カ国	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

海外及び県外でセミナーや空手演武を披露することで、沖縄空手の普及・啓発を行うことができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。	沖縄空手のユネスコ登録を目指した活動と連携し、ユネスコ本部のあるフランスにおいて沖縄空手のセミナーや歴史などを披露し、沖縄空手の普及・啓発が図られた。また、令和4年は船越義珍の空手本土普及100周年であるため、県外の空手団体と連携し、本場沖縄の空手演武を披露する機会を設け、沖縄空手の普及・啓発が図られた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	国内外へ派遣する空手指導者について、(一社) 沖縄伝統空手道振興会の推薦で派遣する制度では、派遣人数が最少人数となるため、より多くの指導者を海外・国内へ派遣する取組方法への変更が必要である。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	委託事業では県が派遣先・日程・人数を決定するため、より柔軟に国内外へ派遣できるよう、補助事業として(一社) 沖縄伝統空手道振興会から派遣指導者への旅費補助へと制度変更することを検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○沖縄空手を通じた国際交流の推進
主な取組	沖縄空手に関するイベントの開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	<p>・「空手の日」や「世界のウチナンチュ大会」等のイベントを活用して空手演武のギネス記録更新に取り組むほか、来沖した海外空手家と県内児童生徒の交流の場を創出するなど、沖縄空手を通じた国際交流を推進します。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
10月25日が空手の日であることを記念して、県内外の多くの空手家による演武祭を開催する。	県,空手関係団体	「空手の日」を記念したイベントの開催		
		奉納演武及び記念演武祭の実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手イベント開催事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手イベント開催事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	12,000	22,500	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	12,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
10月25日が空手の日であることを記念し、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武等を開催した。				10月25日が空手の日であることを記念し、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武を開催する。		

活動指標名	奉納演武及び記念演武祭の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	1回	100.0%	順調	10月25日に空手会館特別道場にて奉納演武、11月3日に那覇市国際通りにて記念演武祭を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄県本土復帰50周年記念事業のとして、世界のウチナーンチュ大会と連携してイベントを開始した。記念演武祭は国際通りに1,951名の空手家が集まり一斉演武を行ったとともに、沿道では12,000名の観客が観覧した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。	「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、空手関係者等と連携し、10月25日が空手の日であることを記念して、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武等を開催した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	記念演武祭は、多くの空手家に演武の参加協力を行う必要があり、県内主要4団体を中心に参加の呼びかけが求められる。	② 連携の強化・改善	記念演武祭の構成段階から空手団体と意見交換等を行い、県内外から多くの空手家に協力いただけるよう連携を取る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性の研究
主な取組	沖縄空手に関する資料収集・調査研究		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に係る機関や団体と協働して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアム事業の諸活動の充実強化の一環として、沖縄空手の戦前新聞等新規資料の収集、スキャニングやトリミング等の紙名や発行日等の情報を目録化、ファイリング、パネル化を行う。	県	沖縄空手に関する資料の収集		
		沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数(累計)		
		200件	200件(400件)	200件(600件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名		沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)			予算事業名		沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度		
					主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	直接実施	1,177	5,500		一括交付金 (ソフト)	委託	10,200
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画			
利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。				利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図る。			
活動指標名	沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	200件	200件	100.0%	順調	沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を実施し、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数200件を達成したため、順調と判定した。当取組によって沖縄空手会館の収蔵資料が充実し、沖縄空手会館資料室の入館者数は前年度より増加している (R3 : 3,263人⇒R4 : 5,387人)。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。</p>	<p>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を実施し、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>専門知識を有する作業となるため、学芸員の配置について継続して行う必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	<p>学芸員の活動に支障を来さないよう、予算確保や執行体制の見直しを図る。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性の研究
主な取組	沖縄空手会館の収蔵資料整理		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に係る機関や団体と協働して取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアム事業の諸活動の充実強化の一環として収蔵資料の整理を行う。	県	沖縄空手会館の収蔵資料整理		
		整理した資料点数(累計)		目録作成件数
		140,000点	140,000点(280,000点)	1件
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)			予算事業名	沖縄県空手振興事業 (沖縄空手会館ミュージアム事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	直接実施	1,177	5,500	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	10,200
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館の収蔵資料整理を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。				利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館の収蔵資料整理を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図る。		

活動指標名	整理した資料点数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	140,000点	140,000点	100.0%	順調	収蔵資料整理件数14万件を実施し、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>収蔵資料整理件数14万件を達成したため、順調と判定した。当取組によって沖縄空手会館の収蔵資料が充実し、沖縄空手会館資料室の入館者数は前年度より増加している(R3 : 3,263人⇒R4 : 5,387人)。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>県外に沖縄空手に関する資料があり、資料収集の手順等の関係で1度での収集作業が不可能であった。予算の問題もあり、今後は旅費等や専門家の確保が必要である。</p>	<p>令和4年度中に完了しなかった資料収集作業について、令和5年度中に実施する。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	資料収集については、専門的な知識を有する者が必要だけでなく、旅費等を十分に確保する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	引き続き、予算確保及び増額、学芸員や研究員等の配置について調整が必要である。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の学術研究の推進やユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成
主な取組	調査研究の実施		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から調査する。	県	学術研究の推進		
		県内集落の悉皆調査の実施数(累計)		報告書作成件数
		調査50力所	調査50力所(100力所)	1件
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	https://okinawakarate-unesco.jp/ □

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業			予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	8,324	7,452	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	12,249
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から調査した。				引き続き民俗学的悉皆調査を実施するとともに、令和6年度にまとめる予定の調査報告書の素案を策定する。		

活動指標名	県内集落の悉皆調査の実施数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	34カ所	調査50カ所	68.0%	やや遅れ	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・研究及び県民等の気運醸成に向けた取組を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>ユネスコ無形文化遺産登録に必要な、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から調査したが、調査実施数は目標値50回に対し、実績値34回となったため、やや遅れとしている。また、他県のユネスコ無形文化遺産登録の取組から見える沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に係る取組について県外講師を招いたシンポジウムを開催した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。</p>	<p>空手が生活文化に浸透している実態を把握するための民俗学的調査について、各市町村の文化財課や各行事の主催団体の協力が必要なため、各地で説明会を実施した。</p>

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	<p>民俗学的調査については、各市町村の文化財課等の協力が必要であるが、文化財課職員の人員不足やコロナ終息後の行事の再開による多忙のため調査協力が得られない場合がある。</p>	② 連携の強化・改善	<p>調査票の作成については、文献等から判明している部分については調査票に反映させ、現状認識や課題については直接、県が調査員(学術研究連絡会の委員)を派遣しヒアリング等を実施する。</p>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の学術研究の推進やユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成
主な取組	県民等の気運醸成		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	<p>・沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、県民や空手関係者の気運醸成を図るためシンポジウムを開催する。	県	県民等の気運醸成に向けた取組の推進		
		沖縄空手関連イベント等を通じた普及啓発の取組件数(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課 【 098-866-2232 】		関連URL	https://okinawakarate-unesco.jp/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業			予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	8,324	7,452	県単等	委託	12,249
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県民等の気運醸成を図るためシンポジウムを開催した。また、ユネスコ本部において沖縄空手の披露や歴史等を説明したブースを出展した。</p>				<p>沖縄空手について、ユネスコ無形文化遺産登録にふさわしいの歴史や精神性を有していることを県民向けにPRするためのシンポジウムを開催する。</p>		

活動指標名	沖縄空手関連イベント等を通じた普及啓発の取組件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	4件	4件	4件	4件	100.0%	順調	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・研究及び県民等の気運醸成に向けた取組の実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>ユネスコ無形文化遺産登録に必要な、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から調査した。また、他県のユネスコ無形文化遺産登録の取組から見える沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に係る取組について県外講師を招いたシンポジウムを開催した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」PDCAを踏まえ、行政、空手関係者、経済界等が引き続き密に連携して沖縄空手の保存・継承・発展を図る各施策を推進する必要がある。</p>	<p>「空手発祥の地・沖縄」を発信する取り組みと連携し、各イベントにおいて沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録推進に係る取り組みをPRした。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、年1回のシンポジウムだけではなく、多種多様な取り組みを実施する必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録について県民の気運醸成を図るため、日常的に目に出来るようなグッズの製作・配布や、SNSを活用したPR動画の配信等を行うことを検討する。</p>